ひらつか議会だより

令和３年(2021年)８月６日
発行　平塚市議会

第220号　編集　議会報編集委員会
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町９番１号
電話 0463-23-1111(市役所代表)・21-8791(議会局直通)
FAX 0463-24-4151

「夏色、鮮やかに」
―イシックス馬入のお花畑に咲くひまわり―

令和3年6月 市議会定例会

令和３年度一般会計補正予算を可決

新型コロナウイルスのワクチン接種を加速化

平塚市議会は、令和３年６月４日から６月29日まで、26日間の会期で６月定例会を開催しました。

今定例会では、市長提出議案として、条例の一部改正や令和３年度一般会計補正予算、人事案件など８案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

また、議員から意見書提出に関する１件の会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は８面に掲載しています。

今定例会では、総額で10億３９８４万円の増額となる一般会計補正予算が提案されました。

主なものとして、国の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分）の支給に係る経費２億２５１６万円が計上されました。

また、債務負担行為の補正が行われ、（仮称）平塚市学校給食センター整備・運営事業において、新たな学校給食センターの整備と維持管理・運営をＰＦＩ手法により行うための費用として、令和３年度から20年度までの18年間で１９７億９３２３万円が限度額として設定されました。

なお、本会議第５日目には、新型コロナウイルス関連の補正予算が追加提案され、感染拡大の長期化に伴う生活困窮世帯への支援策として、生活困窮者自立支援金の支給に係る経費１億２０４６万円が計上されたほか、65歳以上の高齢者へのワクチン接種を７月末までに完了させるために、接種の加速化に係る経費として２億３３０２万円が計上されました。（ワクチン接種の加速化に係る予算については、３面に関連記事を掲載しています）

質疑では、新型コロナウイルス関連予算に関して、本市独自の支援金を創設する考えや、新たに設置するワクチン接種会場での集団接種の概要などが問われました。

このほか、左記で紹介する経費などが計上され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆図書館の設置及び管理等に関する条例を改正

令和４年度から、中央図書館以外の３つの地区図書館の管理に指定管理者制度を導入するため、平塚市の図書館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例が提案されました。

図書館サービスの充実に関しては、３年３月に図書館の現状や、抱える課題を踏まえた今後の図書館運営の方向性が示されており、さらなるサービスの充実が求められる中での提案となりました。

常任委員会では、指定管理者制度を導入した場合のコストメリットや、人材育成と人員配置についての考え方が問われたほか、近隣の学校図書館との協力体制などについても質疑がありました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆市民病院の職員定数を大幅に増員

働き方改革の推進などの社会情勢に適合した柔軟な病院運営や、令和３年２月に改訂された市民病院の将来構想に定めるビジョンを実現するため、平塚市民病院職員定数条例の一部を改正する条例が提案されました。

改正の内容は、医師及び医療技術職員の２交替制勤務への移行、看護師のワーク・ライフ・バランスを考慮した勤務シフト、救急救命士の配置による救急医療の強化と機能充実の推進や、事務職員の増員などにより、定数を８１５人とするもので、現行の６９２人から１２３人の増員となります。

常任委員会では、２交替制勤務の内容や増員による新たな医療体制、経営の強化策などが問われたほか、今後の採用計画、急性期医療や救急医療の強化についても質疑がありました。

採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆人事案件に同意

人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

○上田和子氏（南豊田）

一般会計補正予算の一部を紹介

［庁舎維持管理事業］
●冬期における市庁舎本館１階への外気の流入対策として北側中央出入口を改修するための経費 …… 3,863万円

［消防分団運営事業］
●宝くじの社会貢献広報事業の助成金を活用して、消防団活動用の備品を購入するための経費 …… 100万円

［子ども教育相談センター管理運営事業］
●子ども教育相談センターの非常用自家発電機の修繕を行うための経費 …… 359万円

［小学校運営事業］
●相模小学校の移転に伴う備品等を購入するための経費 …… 3,807万円

市功労者及び議員在職10年の議員を表彰

今定例会初日の本会議終了後に、市議会議員在職10年以上となる議員が、市政の発展に尽力した功績をたたえられ、本市功労者として市長から表彰されました。

また、全国市議会議長会からも市議会議員在職10年の表彰があり、副議長から表彰状の伝達披露がありました。

表彰された議員
○数田俊樹議員（清風クラブ）

主な内容

総括質問 …… 2～7面
清風クラブ …… 2・3
　片倉章博　野崎審也　坂間正昭
しらさぎ・無所属クラブ …… 4
　江口友子　渡部　亮　府川　勝
公明ひらつか …… 5
　秋澤雅久　石田美雪
湘南フォーラム …… 6
　府川正明　出村　光
日本共産党平塚市議会議員団 …… 7
　石田雄二
無所属 …… 7
　小泉春雄
常任委員会の審査概要 …… 5・6面
審議の結果 …… 8面

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。
今定例会では、12人の議員が総括質問を行いました。
質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。
★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

『夢ある未来』平塚を創る

片倉　章博　議員

問　市長任期10年を通じた基本姿勢について伺う。

市長　全体最適を基本に、長期的な視点に立って、変えるべきことは変え、守るべきことは守ることが、持続可能なまちであり続けるためには重要であると考えている。多くの人が訪れ、住みたいと思えるまちになるよう、さらに平塚らしさに磨きをかけ、着実にまちづくりを進めていく。

問　実施した施策と成果について伺う。

市長　さまざまな施策を展開する中、小児医療費助成の所得制限の撤廃、子育て世代包括支援センター「ひらつかネウボラルームはぐくみ」の開設や保育所定員の拡大など、子育て支援策を充実させた。また、まちづくりの骨格となる見附台周辺地区やツインシティ大神地区の整備にも取り組んだ。就任1年目でまいた種が2期目に芽吹き、本市の人口は平成27年に社会減から社会増に転じ、29年には0歳から4歳の転入者が県内1位となり、今も社会増は続いている。また、平塚文化芸術ホールが完成に近づき、文化芸術活動を通じた交流やにぎわいへの期待の高まりを感じている。ツインシティ大神地区では、次々と立地企業が操業をはじめ、先端技術を活用した流通産業の拠点が形成されるとともに、大型商業施設の進出も予定されており、新たなまちの姿が目に見えてきた。

新型コロナワクチン接種

問　ワクチン接種に関して市長の強い決意を伺う。

市長　できれば11月、年内には住民の8割が接種を終えられるように、しっかりと指示をしながら進めていきたいと考えている。

中心市街地の活性化

問　コロナ禍前と現在の空き店舗の状況を伺う。

まちづくり政策部長　明石町及び紅谷町地区での、1階または2階が空き店舗となっている物件数は、コロナ禍前の令和元年9月の調査では53件だったが、3年3月では、106件となっている。

問　中心市街地は大変厳しい状況であり、駅周辺、西口周辺、まちかど広場や浜大門周辺のプランを、実際に形にしていくことが必要と考えるが見解を伺う。

都市整備部長　中心市街地活性化推進事業で、駅周辺部分のエリアを決めて実施している。具体的に行われている取り組みとしては、商店街の若手などを中心とした平塚まちなか活性化隊の活動支援や、西口再開発の勉強会などである。今後はエリアマネジメント組織を作り、活動していきたいと考えている。

問　周辺自治体のように、行政主導で規制緩和を進める必要があるのではないか。

都市整備部長　本市では中心市街地の活性化ビジョンを作成しているが、具体的な内容は明記されていないので、他市の事例などを参考にしながら進めていきたいと考えている。

問　市長のマニフェストには、中心商店街を活性化して経済を回していくと力強く掲げられているが、1階及び2階への店舗誘導に対し、インセンティブを与える考えはあるのか。

市長　中心街の活性化については、高さ制限も含めて大きな要望があることは認識している。具体的にどのような形でそれを撤廃していくのか、エリアを絞って行うことが行政主導でできるのか、スピードも必要なので、どの部分で折り合い、どの部分を強化して進めていくのかをしっかりと検討していきたい。

▼このほかの質問　まちづくり条例　カーボンニュートラル　平塚市デジタル化基本方針　庁舎及び文化ゾーン駐車場

市内への転入者社会増によりさらに選ばれるまちに向けて

野崎　審也　議員

生産年齢人口の推移

問　本市は、買って住みたい街、本当に住みやすい街大賞シニア編、共働き・子育てしやすい街などのランキングで県内でも高く評価されている。海・山・川に囲まれた自然豊かな環境と温暖な気候、都心から近い住環境の良さから移住を希望する人が増えていると感じるが、15歳から64歳の生産年齢人口の推移を伺う。

副市長　平成28年以降は社会増である。特に35歳以上の子育て世代の増加が続いており、将来にわたってまちの持続性を高めていくと考えている。

問　生産年齢人口の移住促進を更に進めるための、産業振興の施策を伺う。

産業振興部長　働く場や就労機会などを整える施策が必要と考える。正規雇用促進の補助金やスマート農業などを着実に進めたい。

アンケートについて

問　転入者へのアンケートは実施しているのか。

企画政策部長　神奈川県と連携し、本市独自の設問事項も加えて6月末から実施する予定である。

まちへの愛着と誇り

問　1階の窓口職員は、市民へおもてなしの心と感謝の気持ちで対応すべきと考えるが、見解を伺う。

市民部長　職員には、まちへの愛着と誇りを持った対応を心掛けるよう意識醸成を行っている。本市を選んで良かったと思ってもらえるような対応に努めたい。

若い世代への情報発信

問　シティプロモーションの現状と今後の取り組みを伺う。

副市長　テレワークなどの普及を踏まえて「新しいライフスタイルを平塚で」という動画を制作し、新宿駅や横浜市内で放映した。今後は、住まい選びの意識変化や住宅建設の状況などを捉え、ターゲットエリア拡大を検討していく。

問　本市はマンション建設ラッシュと言われており、ターゲットエリア拡大が必要ではないか。また注目している事業は何か伺う。

市長室長　圏央道や湘南新宿ラインなどの開通、市内のマンション建設ラッシュなどを理由に、埼玉や東京西部、北関東へのエリア拡大を考えている。注目すべき事業は、龍城ケ丘ゾーンの公園整備をはじめとする海岸エリア魅力アップ事業などである。

龍城ケ丘の公園整備

問　海の魅力向上に向けた取り組みを伺う。

市長室長　本当に住みやすい街大賞シニア編で、海と自然とにぎやかさが混在するスローライフにぴったりのまちと紹介されている。そうした海の魅力をSNSなどで発信している。

問　海辺の魅力向上により本市の価値もさらに高まると考えるが、どのような公園を整備するのか。

都市整備部長　海辺に広場や駐車場などを整備する。家族連れはもとより、高齢者や障がいのある人にも海を楽しんでもらい、選ばれるまち、住み続けるまちにつなげたい。

子育てするなら平塚で

問　0歳から14歳の人口の社会増減について伺う。

健康・こども部長　社会増減は、過去5年間いずれも転入超過となっている。

問　共働き・子育てしやすい街ランキングで県内4位、全国で46位だが、どう評価しているか。

健康・こども部長　学童保育の充実や保育士確保の取り組みのほか、コロナ禍での子育て世代への支援などが評価された。今年度4月に病児保育や待機児童ゼロを達成したので、来年度の評価につながると考える。

市議会ホームページ

市議会のホームページでは、会議日程、本会議の生中継と録画中継、議会だよりのバックナンバーなどを掲載しています。

１面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、議会だより１面に掲載する写真を募集しています。平塚市の魅力を収めた写真、季節感に溢れる写真など、皆様のとっておきの一枚をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧いただくか、議会局までお問い合わせください。

（議会局☎21－8791）

可決した 意見書

議員から、次の意見書が提案され、全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

■子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書（抜粋）

昨年から続く感染症対策は、教職員が子どもたちと向き合う時間の確保を困難なものにしています。加えて、新型コロナウイルス感染症が子どもの心へ与えている影響は大きく、現場教職員からは子どもたちの異変に対する心配の声が聞かれます。しかし、教職員の多忙化は深刻であり、子どもたちに向き合う時間の確保にもつながるスクールサポートスタッフやＩＣＴ支援員、子どもたちに様々な視点からかかわるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、学校を支えるスタッフの配置は不十分な状況です。

よって、次の事項について配慮されるよう、強く要望いたします。

1　中学校での35人学級を早急に実施すること。また、30人学級の実現に向けて検討すること。

2　学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。

3　スクールサポートスタッフやＧＩＧＡスクールサポーター、ＩＣＴ支援員等の配置の拡充のための必要な財源の保障を行うこと。

4　教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を２分の１に復元すること。

それぞれの課題解決について

坂間 正昭 議員

ツインシティ整備の推進

問　土地区画整理事業や公共下水道整備、相模小学校建設の進捗状況を伺う。

都市整備部長　今年度末には総事業費の約87％を執行する予定である。公共下水道は下水道管の敷設などを進めており、全体延長の約86％が進捗している。相模小学校は今年12月の完成を予定している。

問　南北都市軸の新しい公共交通の協議状況を伺う。

都市整備部長　バス事業者などと交差点の道路改良について調整している。連節バスは、バス事業者や厚木市と、公共交通需要の共有や走行ルートの課題解決に向けた協議を進めている。

問　経路についてはどのような検討をしているのか。

交通政策担当部長　平塚駅から国道129号へ出るルートとして、四つ角を右折するルート、宮の前の交差点を右折するルート、市役所前の交差点を右折するルートを調整している。

問　まちびらきはいつごろを予定しているのか。

都市整備部長　できれば令和４年度には開催したいと主催者からは聞いている。

西部地域のまちづくり

問　クラインガルテンなどの実現化に向けた具体的な検討をどう進めるのか。

まちづくり政策部長　基礎調査の結果や、地域が作成した吉沢地区の将来構想を基に検討を進め、地域、学術機関、土地を所有する企業及び本市の４者で合意形成を図る。短期的には、収穫体験農園の開設など、将来的なニーズの把握につながる取り組みを地域と連携して進める。

問　運営や活動範囲の拡大には法人化などの仕組みづくりが必要ではないか。

まちづくり政策部長　柔軟な事業展開ができるなどの利点も多いため、法人化は有効な手段と考えている。

神奈川大学の移転

問　移転が及ぼす影響をどう捉えているのか。

企画政策部長　本市との交流事業をはじめ、消費活動の縮小に伴う経済面や、地域の公共交通、生活環境などに及ぼす影響が見込まれ、移転は市全体の問題と捉えている。何らかの形で大学としての継続を要望するとともに、移転後の利活用に関する情報を求めている。得られた情報は地域と共有し対応を検討する。

問　大学に残ってほしいというのは地域の大きな要望である。市は、大学と地域それぞれと定期的な連携を図っていかなければならないと思うが、考えを伺う。

企画政策部長　大学側でも何かしらの考えを進めてもらっていると考えている。粘り強く働き掛けを続けていきたい。

農福連携事業について

問　本市が取り組む農福連携の考え方を伺う。

産業振興部長　高齢化や担い手不足が懸念される農業と、障がい者の就労支援の推進などに取り組む福祉の連携で、農業と障がい福祉の充実や課題解決につながるものと考える。

問　県では農福のマッチングをするコーディネーターを育成し、令和５年度からの自走化に取り組む事業を実施している。本市の自走化に向けた考え方を伺う。

産業振興部長　以前、関係各課による農福連携プロジェクトを実施し、契約書のひな型など基礎的なものはできているが、農家と福祉事業所がマッチングする仕組みができていない。県の事業で育成されたコーディネーターを活用し、自走化を目指したい。

▼このほかの質問　地域コミュニティ活動の創出　青少年育成への活動支援　ヤングケアラー

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営員会でその取り扱いについて協議します。

清風クラブ 所属議員

数田 俊樹 議長

佐藤 貴子 議員

諸伏 清児 議員

須藤 量久 議員

黒部 栄三 議員

新型コロナウイルスワクチンの接種加速化に係る補正予算を可決

新型コロナウイルスのワクチン接種に関して、65歳以上の高齢者接種を７月末までに完了させるため、「平日に平塚市役所での集団接種」「レモンガススタジアム平塚での集団接種」「土・日曜日に保健センターでの集団接種の枠拡大（時間延長・医師増員）」の３つの取り組みが実施されることになりました。それに伴い、関連経費の２億3302万円が補正予算として計上され、今定例会中に追加議案として提出されました。

議案の提出に当たっては、その重要性と緊急性を鑑み、会派代表者への事前説明や議会運営委員会における詳細説明が求められました。議員からは、「重要な予算なのでぜひ賛成したい。希望する人がしっかりと接種できるように進めてほしい」「総合計画の実施計画と整合をとって進めることも必要ではないか」との意見があったほか、打ち手の確保状況や市民への周知方法についても質問がありました。さらに、今後は市民や議会へきめ細かく情報提供していくよう要望がありました。

本会議第５日目に追加議案が提出され、質疑では、「接種を希望しない人にも配慮しながら加速化を進めてほしい」「予約状況をリアルタイムに発信する仕組みをつくって接種をスムーズに進めてほしい」との意見があったほか、８月以降の接種に関する詳細などが問われました。

本議案は、初日に提出されたワクチン接種関連の補正予算に追加計上する内容ですが、迅速な対応が必要であることから、初日に提出された議案の議決が行われる最終日を待たず、第５日目に即日で採決が行われ、全員異議なく可決しました。

【ワクチン接種を加速化するための経費の内容】

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業……3,909万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業……１億7,765万円
休日・夜間救急医療推進事業……20万円
人件費……1,608万円

しらさぎ・無所属クラブ

命を守るためにより細やかにコロナ対策を講じていこう

江口　友子 議員

コロナ禍を踏まえた市民病院のあり方を

問　市民病院の職員定数を123人増やす条例改正が提案された。一度に定数を増やす背景を伺う。

副病院長兼事務局長　働き方改革に対応した地域医療と、市民の命を守る病院に必要な人数を設定した。

問　単に定数の箱を大きくするだけでなく前倒しをして大規模な採用を行えば、現場の負担軽減にもなり医療従事者がコロナに罹患した際の機能低下のリスクも抑えられるのではないか。

副病院長兼事務局長　医業収益と給与費のバランスがとれる採用計画を立て、優秀な人材確保に努める。

問　コロナ禍を踏まえて将来構想を策定し直すべきではないか。

副病院長兼事務局長　コロナが収束して経営状態を予測できる状況になった時点で考えたい。

日曜日に市役所の相談窓口開設を

問　生活に困窮する市民から「日曜日しか仕事が休めず市役所に行けない」という声を聞く。コロナ禍の生活困窮対策として、日曜日や年末年始に臨時相談窓口を開設すべきではないか。

福祉部長　先行事例として相模原市と横須賀市の状況を確認した。現在、本市としての取り組みを検討している状況である。

（株）DHCとの連携協定の解消を

問　DHC社の会長が自社公式サイトで差別発言を掲載しこれを削除した。連携協定を締結している本市に対しての謝罪や、撤回理由の説明などはあったのか。

市長　企業のホームページへ公式見解の掲載を求めたが掲載されていない。

問　市長記者会見では、記事が削除されれば連携協定の解除はしない旨の発言があったが、この方針に変わりはないのか。

市長　本市からは、経緯の説明、社会的に混乱を招いたことへの見解、根本的な再発防止の取り組みなどについて、ホームページ上に企業としての公式見解を示すよう求めたが、企業側から対応が難しい旨の公式回答があり、協定解除に向けた手続きを進めている。

車椅子が通れない文化芸術ホールへの新設道路は直して

問　平塚文化芸術ホールの建設などに伴い整備された見附町6号道路（新しくできた店舗と、崇善公民館・市民活動センターとの間の道）には歩道がない。整備計画に歩道の設置を求める必要はなかったのか。

都市整備部長　歩行者などの安心・安全に配慮するよう整備方針へ明記してありぎょうせいに、簡易改修による便器の洋式化や床の乾式化などを進められないか。

電柱が邪魔して通れない（市内見附町）

問　実地調査の際に、市肢体障害者福祉協会副会長の岡山雅一氏からは、「定期借地で民間事業者に貸す土地に設置されている当該歩道が法的には正式な歩道ではないとしても、現に不特定多数の人が通行できる形で設置されている以上、安全性に十分配慮した形で設置するよう指導監督する責任が市にはあるのではないか」という意見をもらった。改善の必要性についての見解を伺う。

市長　課題をしっかりと捉えて対処できるようにしていきたい。

小学校の「困った」を改善へ

渡部　亮 議員

連絡手段デジタル化

問　子供が休むとき、連絡帳を近所の友達に渡すというのは面倒で前時代的である。欠席連絡や配付物をデジタル化できないか。

教育指導担当部長　欠席連絡は今年度中にオンラインで自動化する。配付物をデジタル化するメリットも把握しており、学校と連携を図りながら、今年度後半の導入を目指す。

給食開始の早期化

問　1年生の給食開始を2年生以上と同じ日にしてほしい。保護者の負担はもちろん、子供も「もっと早くから食べたかった」と言っている。当事者の意見を聞いてもらえないか。

教育指導担当部長　ゆっくりと開始時期を見極めたいので、アンケートなどの実施は考えていない。今後も1年生の様子を見ながら保護者の声を確認し、開始時期を検討したい。

トイレの洋式化加速

問　本市の公立小中学校のトイレ洋式化率は約47％で県内ワースト3位である。改修工事の予定が当面先の学校に、簡易改修による便器の洋式化や床の乾式化などを進められないか。

学校教育部長　大規模改修に加え、国の補助金を活用し、トイレに特化した改修工事を進めているが、費用と時間が掛かることは認識している。簡易改修は今後の検討課題と考えている。

体操服下の肌着問題

問　一部の小学校で体操服の下の肌着着用を禁止する指導が行われていた。今年度も1年生が肌着を脱ぐよう指導され、嫌な思いをしたと保護者から相談を受けた。なぜそのような指導があったのか。

教育指導担当部長　汗をかいた後に着替える肌着がない場合の、衛生面・健康面を考慮した指導であると考えられる。

問　無理に脱がせず、肌着の着用の仕方は自由に選ばせてもらえないか。

教育指導担当部長　学校には社会通念上合理的かどうか、児童や保護者の意見が尊重されているかなどの点検や見直しを求め、保護者や子供には事前に指導方針を伝えておく必要があると感じている。

危険、不便なバス停を解消、便利・安全なバス停を

府川　勝 議員

問　市内6か所のバス停が危険度Bに指定されたが、改善の状況を伺う。

交通政策担当部長　バス事業者へ確認したところ、横断歩道や交差点から離れた場所への移設を検討していると聞いている。

問　ベンチや上屋などの設置は計画的に進め、必要度の高い場所は市が全額負担するべきではないか。

交通政策担当部長　上屋などはバス事業者が候補地を選定・検討し整備する。本市も必要に応じて関係機関と連携を図っていく。

湘南海岸公園龍城ケ丘ゾーン整備

問　神奈川県から、今と同等以上の飛砂防備機能を求める意見があったとのことだが、塩害・風害についてはどうか。

都市整備部長　塩害・風害について考慮してほしいという話があった。

問　市民有志が行った塩害・風害調査によると、住宅地への影響が懸念される。市も住宅地への影響を調査すべきではないか。

都市整備部長　飛砂については住宅地での調査はしていないが、計画地での調査をしている。風についてはシミュレーション上では問題ないので、整備後も大きな変化はないのではないかと考えている。飛砂の調査結果が出てから考えたい。

▼このほかの質問　未利用地の活用における公平性・透明性の確保　がん検診

「ヤングケアラー」を助けて

問　ヤングケアラーと呼ばれ、家族の世話や介護に多くの時間を費やしている子供たちを助けるために、本市ではどのような取り組みを行うのか。

健康・こども部長　国がプロジェクトチームを立ち上げ提言が示されたが、具体的な指示は受けていない。

問　市内のすべての中学生に調査をしてはどうか。

健康・こども部長　県や政令市の実態把握の手法や時期なども踏まえ、今後の検討課題としたい。

問　福祉部に専門家や担当者を配置してはどうか。

健康・こども部長　現行の相談体制を活用しながら、国の方針も注視し、支援体制を充実させる取り組みを検討していく。

「視覚障がい者専用グループホーム」について

問　市が助成して、視覚障がい者のグループホームを増やすことはできないか。

福祉部長　整備に関する手続きなどの情報提供や、事業者からの相談に応じている。設置に関する補助も実施し、支援に努めている。

問　本市の視覚障がい者グループホームには65歳以上の人は入居できないと聞いたが、実際には横浜市から紹介されて入居している人がいる。入居に関する特別な条件があるのか。

福祉部長　横浜市へ条件などを確認したが、本市と同様に法令や通知などに沿った運用であったことから、本人の状況に照らして入居しているものと考える。

電線地中化、無電柱化をすすめよう

問　市道の電線地中化計画についての考えを伺う。

土木部長　平塚市道路中期ビジョンにおいて、災害対応力の強化として、緊急輸送道路や安心・安全な歩行空間の確保のため、無電柱化を位置づけている。また、良好な都市景観の形成に寄与することから、新しいまちづくりの際には無電柱化を推進している。

問　電柱を増やさないための条例制定なども考えられるが見解を伺う。

土木部長　電線管理者から新たな電柱設置に向けた協議を受けた際は、用地確保や技術上の制約がある場合以外は、道路への設置を認めていない。

しらさぎ・無所属クラブ　所属議員

端 文昭 議員

金子 修一 議員

臼井 照人 議員

公明ひらつか

持続可能な市政運営を

秋澤 雅久 議員

安全・安心でおいしい適温給食を

問 コロナ禍を受け、（仮称）平塚市学校給食センター整備・運営事業実施方針及び要求水準書（案）へ、どのようにリスク分担を反映したのか伺う。

市長 新型コロナに関して明記した事項はないが、事業を中断せざるを得ない事態になった場合、それが実施方針のリスク分担に掲げる不可抗力に該当するかを判断する必要があると考える。不可抗力の考え方は、今後公表する事業契約書（案）で示す予定である。

問 災害から通常給食への復旧に関する要求水準についての考え方を伺う。

市長 災害が発生しても、施設や設備機器への影響を極力回避できることを求めている。これによって、学校再開後に速やかな給食の提供が可能となる。

問 災害から通常給食に戻るため、ＢＣＰマニュアルを作るべきではないか。

学校教育部長 ＢＣＰマニュアルは当然必要と考えている。事業者と協議を行い、事業開始までに整備したい。

問 15年という長期の事業であることから、事業が適正に行われているか監視するモニタリングの結果を、定期的に公表する必要があるのではないか。

学校教育部長 定期的に公表することを考えている。

医療費適正化へ

問 行動経済学のナッジ理論を活用した、特定健診受診率向上への取り組みを伺う。

健康・こども部長 健診を受けることが大事であるとの選択につながるよう、心のメカニズムと行動の分析を行うナッジ理論を活用している。具体的には、継続未受診者への受診勧奨はがきの文面の工夫や、受診期間を短縮し、締め切り効果による受診行動への働き掛けなどを実施した結果、以前より受診時期が早まるなどの効果があった。今後も特定健診受診率向上を中心に、他事業へもナッジ理論を応用していく。

実効的な防災対策を

問 4月に改正された災害対策基本法では、避難行動要支援者対策として個別避難計画の作成が市町村の努力義務となった。今後の取り組みについて伺う。

市長 新制度の理解促進に軸足を置き、地域関係者に対して制度の主旨や共助の重要性、取り組み方などについて、地域へ出向き意見交換を進めたいと考えている。

問 要配慮者利用施設が作成する避難確保計画について、各施設への作成支援と避難の実効性確保はどのように行うのか。

市長 各施設に説明や相談を積極的に行い、計画作成の促進を図る。また、計画に基づく避難訓練が施設管理者などの義務とされたため、訓練実施状況の把握や個別相談などにより、避難の実効性向上を図る。

問 社会福祉施設などのＢＣＰ策定状況や、策定支援の考え方を伺う。

市長 多くの介護施設で、ＢＣＰの策定に至っていないと認識している。早期の策定へ向け、国のガイドラインの活用促進を図るなどの必要な支援を行い、高齢者の安心・安全の確保に努める。

問 中小企業が災害などから早期復旧するための「事業継続力強化計画」の認定制度を国が創設した。本市は市内事業者にどのような支援を行っていくのか。

市長 金融総合案内窓口で実施している経営相談の中で、計画策定への助言などに加えて、計画を策定した事業者に対して「企業立地促進補助金」や「中小企業設備投資促進助成金」などを上乗せし、市内事業者を後押ししている。

感染症対策とコロナ禍における孤立・孤独対策について

石田 美雪 議員

問 平日などでワクチン接種の集団接種予約枠を増やしたが、予約が埋まらない日が出ることも予想される。接種券と予診票があれば、予約なしでも受付できないか見解を伺う。

新型コロナワクチン接種担当部長 予約なしで来られるのはリスクが大きいため、検討課題としたい。

問 受験生の優先接種を希望する声がある。夏休み中には接種を完了したいと考えていると思う。優先枠をつくる考えはないのか。

新型コロナワクチン接種担当部長 若年層への接種についてはさまざまな意見がある。現段階では近隣市の動向なども踏まえ決めていきたいと考えている。

問 コロナ禍の財政運営について、当初予算に計上したが、イベントの中止などで実施できない事業が多く、不用額が例年より15億円ほど多いとの事だが、この活用について、庁内で情報共有を図り、使途について建設的な議論を行なう場はあるのか伺う。

企画政策部長 専門の組織はないが、会計課や財政課と担当課で執行状況を見極め判断しており、実態的な情報共有、意思疎通は常に行っている状況である。

問 コロナ禍で、生活困窮や虐待などで生理用品が手に入らない「生理の貧困」が顕在化した。災害備蓄品の生理用品も食品同様、定期的に更新し必要な人に配布するなど、有効活用すべきと思うが見解を伺う。

市民部長 今後は生理用品を含む衛生用品などについても、有効活用や適切な入れ替えを備蓄計画に盛り込み更新していく。配布は、準備が整えば6月中の開始を予定している。

問 病気や障がいのある家族に代わり、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任を背負う「ヤングケアラー」の支援について、早期発見に向けた現状の課題と今後の取り組みについて伺う。

副市長 早期発見に向けたネットワークづくりに取り組み、実態把握を進める。また発見後の支援を円滑に進めるため、情報共有と役割分担の明確化を図り、支援体制を整えていく。

問 女性に寄り添った自立支援の推進には、分かりやすく情報のワンストップ化を図れる「男女共同参画センター」などの設置が必要と思うが見解を伺う。

市民部長 センターなどの設置は先進事例を研究する。相談窓口の情報を分かりやすく周知する方法も検討し丁寧な相談に努める。

問 コロナ禍で奨学金の返還が困難な若者の声を受け、国が奨学金返還支援制度を拡充した。本市企業への周知を図る必要があると思うが見解を伺う。

企画政策部長 商工会議所とも連携し、市内企業への周知を図っていきたい。

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。

録画中継は発言日のおおむね１週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

公明ひらつか 所属議員

上野 仁志 議員

鈴木 晴男 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。
常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済

議案１案件は原案どおり可決すべきもの、請願１件は趣旨採択すべきものと決定しました。

○議案第49号　令和３年度平塚市一般会計補正予算

問 財産管理費の庁舎維持管理事業について、予算額は約3800万円だが、内訳を伺う。

答 全体の半分以上は自動ドアの取り替えに係る費用となっている。それ以外には取り替え作業の際に干渉する内装や照明器具などの改修、電気錠システムの新しい自動ドアへの対応、仮設の間仕切りやガードマンの配置などの費用を見込んでいる。

問 戸籍住民基本台帳費のマイナンバー推進事業について、交付受付用機器賃借料とあるが、交付受付用機器とはどのようなものか。

答 交付受付用機器についてだが、マイナンバーカードの受領にあたり、本人確認を厳格に行うなど、正確で慎重な手続きを求められている。このため、交付時には、カードを受領する際の記入漏れを無くすために手書きで受領証の作成をお願いしている。この受領証について、市から送付する受け取り案内に記載のバーコードを読み取ることで受付し、受領証を自動作成する、ノーライト化を行うための機器で、これらの機器の賃借料及びシステムの保守費を計上している。この機器を導入することで、来庁者の書類記載の負担軽減と誤記防止、職員のチェック作業の省力化によるミス防止、また、待ち時間の短縮にもつながると考えている。

都市建設

議案１案件は原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第49号　令和３年度平塚市一般会計補正予算

問 非常備消防費の消防分団運営事業について、角型組立水槽購入費とのことだが、使用用途、購入目的を伺う。

答 用途については、災害時などの消火用、放水用の水を貯めるもので、使用目的は消火栓が断水したときの水源確保などに使う。

湘南フォーラム

コロナ禍での感染対策はより強固に

府川　正明　議員

コロナ禍の対応は

問　全国的に感染が増加傾向である。飲食店などへ時短営業やカラオケ自粛を要請してきた効果を伺う。

市長　市民や事業者の多大な努力で、ある程度感染者が抑えられている。本市の取り組みでは、広報ひらつかなどでの感染予防の周知、飲食店などへの感染予防の注意喚起、市の施設での感染防止対策の徹底、これらが感染拡大防止につながった。

問　現在のワクチン接種体制を伺う。

市長　医療従事者の接種に遅れがあったが、高齢者施設接種や集団接種、個別医療機関での接種は円滑に進んでいる。国の指示で平日の集団接種も実施する。

問　コールセンターに電話をしてもつながらないという声がある。個別接種の体制も十分ではない部分もある。感染が増えている若い世代が早く接種できる体制も必要と思う。それぞれの状況を伺う。

新型コロナワクチン接種担当部長　コールセンターは、回線の増設や土日の開設などの対策をとった。個別医療機関での接種は、予約枠が増加し加速できている。若い世代の接種については、基本的に感染予防、発症予防、重症化予防などを主眼にして高齢者から接種を行い、年齢順に下げていくことを考えている。

ごみ収集業務

問　ひとり世帯や高齢者世帯が増え、現在の収集方法はごみ出しなどの負担、路上の集積所の景観や安全面の問題、カラスの被害など課題がある。昨年度はモデル地区で戸別収集を実施し、今年度も継続するが、全市域に拡大した場合は人員と車両台数の増加が見込まれる。民間委託する考えはあるのか。

環境部長　全市域へ可燃ごみの戸別収集を拡大するには、収集体制を整える必要がある。今後、段階的に全市域に拡大する際には、民間活力を活用しながら収集体制を確保していく。

病児保育

問　今年度開設した病児保育施設の運用状況を伺う。

市長　本市初の病児保育施設として松風町に開設した「麦・もんもん病児保育室」は、6月10日時点で186人の児童が登録されており、延べ利用児童は43人となっている。

問　病児保育は、今本当に必要な施策である。今後の取り組みを伺う。

健康・こども部長　病児保育を利用したい人がきちんと利用できるように、しっかりと周知をし、施設が利用されるような支援をしていきたい。

大浜地区の環境整備

問　寺町大浜線の防波堤を兼ねた道路整備や、大浜地区の下水道整備の取り組みと考え方を伺う。

土木部長　寺町大浜線は、防潮機能を持たせるなどの環境整備を目指している。下水道整備は、道路の位置が公図と整合していないなどの課題がある。底地整理など整備のために必要な用地の確保に向け、関係機関と連携して検討していく。

待機児童の課題や教育委員会にGIGAスクール等を問う

出村　光　議員

待機児童の今後

問　入所保留児童数減少への具体的な施策と通年待機児童ゼロへの行程を伺う。

健康・こども部長　入所保留者の意向を分析し、メリハリのある対策を進める。また、利用者の動態を見極め、保育需要への柔軟な対応などを踏まえ、2年連続4月の待機児童ゼロに向け取り組んでいく。

教育委員会に問う

問　GIGAスクール構想について、タブレットの整備状況とインターネット環境が整わない家庭への支援体制を伺う。

学校教育部長　昨年度中に小中学校全45校で整備が完了した。環境が整わない家庭にはモバイルワイファイルーターを貸し出すことを考えている。

問　配備された端末の活用について、見解を伺う。

教育指導担当部長　さまざまな活用をしている。教員のスキルを向上させ、児童生徒への指導を行うことで構想を軌道に乗せていく。

問　英語教育は重要であり、義務教育課程修了時点で英検3級レベル到達を期待するが、見解を伺う。

学校教育部長　外国人英語指導者を各学校に派遣し、英語に触れ、会話をすることで英検3級相当の英語力が身につくよう努める。

問　小中学校の諸設備について、国が示すバリアフリー整備目標と、本市のトイレ洋式化率向上についての考えを伺う。

学校教育部長　バリアフリー化については、車いす利用者用トイレの設置や段差解消を進めている。トイレの洋式化も計画的に整備を進めていく。

▼このほかの質問　平塚波力発電所　平塚駅西口再開発の進捗状況

湘南フォーラム　所属議員

山原　栄一　議員

声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
議会局　☎21-8791

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

環境厚生

議案２案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願１件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第48号　平塚市民病院職員定数条例の一部を改正する条例

問　医療の高度化、専門化に伴い、より多くの医療職員が必要とされる中で、医療体制をしっかり組んでいくことが必要である。この定数増によって、急性期医療の実践や救命救急センターの強化を進めていく考えはあるのか。

答　看護師の人数を増やしてＩＣＵ加算などを得ることで収益が上がり、より質の高い急性期医療が提供できると考えている。また、救急救命士を増やすことで、救急医師の補助や、救急車に同乗して救命を行うことが可能となり、救急医療の質を上げていくことができると考えている。そのような部分を採用によって強化していく考えである。

○議案第49号　令和３年度平塚市一般会計補正予算

問　予防費の新型コロナウイルスワクチン接種事業について、職域接種や大規模接種会場での接種を希望する人も出てくると思うが、特定の人の接種券を抜き出して発送するのは時間が掛かる作業である。どのようなシステムを考えているのか。

答　日に日に届け出が多くなっており、年代別の接種券の送付を早めることも検討しつつ準備を進めている。スムーズに接種が進むように検討していきたい。

教育民生

議案３案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願１件は採択すべきものと決定しました。

○議案第47号　平塚市の図書館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

問　改正案第５条に指定管理者の指定と図書館の利用に関し、住民の平等な利用が確保できるものであることとされている。この点をどのように図っていくのか伺う。

答　図書館は公の施設であるので、利用するにあたり、不当な差別的な扱いをしてはならないことはもちろんであり、地方自治法にも規定がされている。今後、公平な運営を行っていくとともに、特定の利用者や団体に有利あるいは不利な運営をしないことを求めていくことを検討していく。

○議案第49号　令和３年度平塚市一般会計補正予算

問　学校管理費の小学校運営事業は、相模小学校の移転に伴う備品などの購入となっている。森林環境譲与税基金を活用して購入すると思うが、どのような環境に配慮した備品を購入するのか。

答　環境共生モデル都市として整備されるツインシティ大神地区土地区画整理事業区内の小学校ということで、県内産の木材で製作された天板を使用した机を導入する予定である。地元の木材を利用して作った天板を通じて、子供たちが木材の良さや利用する意義を学ぶ機会のきっかけづくりになると考えている。

日本共産党平塚市議会議員団

コロナ禍の中、市民に寄り添い、謙虚でやさしい政治を

石田 雄二 議員

湘南海岸公園龍城ケ丘ゾーン整備・管理運営事業

問 平塚市は、事業者が進める公園整備計画ありきの、偏った市民アンケートを昨年の春に行った。このアンケートのうち、FAXで寄せられた8割が同一のFAXから一括送信されている上に、筆跡が同じものや住所が不明なものが複数あった。これは、行政が行うアンケートとして問題があるとこれまでも指摘してきた。さらに、アンケートは賛否を問うものではないとしながら、市はこの結果をもって多くの市民が肯定的であると強調してきた。しかし市長は、今年3月の定例記者会見で、賛成多数とする発言の根拠について記者から問われたことに対し「半数以上が賛成と話をした根拠は、私の感じ方でしかない」と答えている。これまでも市は、8千筆からの樹林帯伐採反対の声や、複数の近隣自治会長からの見直しを求める決議文を反故にして、住民の声を聞いてこなかった。今こそ、地域住民と話し合うべきではないか。

都市整備部長 本事業は、募集要項策定時から市民の意見をもらい、地盤高を県の防護水準を上回る高さへ修正を行った。また、事業者提案のプランについて、樹木を残して欲しいとの声があったため、更なる樹木保全の検討を進めるなど、市民の意見にできる限り対応している。今後も市民との対話を継続し、理解を得られるよう努めていく。

問 県への占用許可の申請はいつ行うのか。また必要な条件は何か。

都市整備部長 今後、県に対して海岸法に基づく海岸占用などの協議を行うこととしており、具体的な条件はその中で明らかになると考えている。

問 市はこれまで、県から飛砂防備機能に関する意見以外は言われていないとしてきたが、今議会で「塩害・風害についても考慮してほしいとの話があった」と答弁した。県から話があったのに、なかったと言ってきたということか。

都市整備部長 これまで塩害や風害について県から言われたことを整理している状況である。

問 塩害や風害の調査は行っているのか。

都市整備部長 塩害は文献などにより、公園の整備前後で変わらないと考えており調査は行っていない。風害も事前のシミュレーションで状況は変わらないと認識している。

問 市長は地元住民へ直接説明する考えはないのか。

市長 数度にわたり説明は行ってきている。それでも市民からの要望があるということなので、担当に対して、今の樹林帯をどのようにうまく残して整備できるのか、子供がしっかりと使えるようなものにすること、地域の安寧をしっかりと保つことができるように、これらの三点を再度指示しており、現在、具体的にそれらを進めている。ある程度の内容が決まった段階で、地元へ出向いて話をしたいと思っている。

▼このほかの質問 豪雨災害に対する対策　新型コロナワクチン接種とPCR検査　学校女子トイレの生理用品配備　生活保護制度申請時の扶養照会について

日本共産党平塚市議会議員団 所属議員

松本 敏子 議員

無所属

ワクチン接種でコロナに打ち勝ち日常を取り戻そう

小泉 春雄 議員

新型コロナウイルスワクチンの接種状況

問 65歳以上の接種目標が80％ということだが、全体の目標は何％か。

新型コロナワクチン接種担当部長 集団免疫を持つとされる70％が目標となっている。

問 12月末を市民全体への接種完了の目標としているが、11月末までには完了させるべきではないか。

新型コロナワクチン接種担当部長 職域接種の状況も踏まえ、前倒しを含めた再検討が必要と考えている。

問 職域接種を考えている市内企業などの把握はしているのか。

新型コロナワクチン接種担当部長 2件の申請が許可されたと承知しているが、詳細は把握していない。

問 職域接種を呼びかけ、市の負担軽減を図るべきではないか。

新型コロナワクチン接種担当部長 情報収集に努め、できる限りの支援を行う。

問 市民との関わりが多い市職員を職域接種の対象者としてはどうか。

新型コロナワクチン接種担当部長 国からの指示があった際には積極的に進めたいと考えている。

問 29歳以下の人へ接種券を送付するのは、8月以降と広報に掲載されていたが、あまりにも遅い。年齢で細かく分け過ぎているのではないか。

新型コロナワクチン接種担当部長 大規模接種や職域接種がかなり進んでいる状況も踏まえ、前倒しができないか検討している。

問 今後、接種を受けた人と受けていない人が出てくる。接種情報が表に出ないようしっかりと管理するべきだと思うが見解を伺う。

新型コロナワクチン接種担当部長 配慮が必要であることは承知しているので、万全を期していきたい。

▼このほかの質問 湘南ひらつか七夕まつりについて

無所属議員

久保田 聡 議員

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、市役所本館８階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。

議会図書室には、白書などの政府刊行物や市の行政資料、地方自治や政策に関する書籍・雑誌などがあります。また、会議録や議会だよりなどを配架し、情報発信に努めています。

ご利用いただける時間は、平日の午前８時30分から午後５時までとなります。

市役所にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

５月臨時会　審議の結果

令和３年５月18日に５月臨時会を開催し、市長提出議案が５件提出されました。

一般会計では、令和２年度末での収入及び事業費の確定に伴う補正及び財源充当補正、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業などが２年度内に終了しない見込みであることによる繰越明許費補正、地方債補正などの専決処分が行われました。また、国の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の支給に係る経費についても、迅速に対応する必要が生じたことから専決処分が行われました。これらについて議会の承認が求められ、採決の結果、全員異議なく承認しました。

このほかに、市税条例の一部を改正する条例の専決処分や、監査委員の選任に関する議案について、全員異議なく承認、同意しました。

市長提出議案

議案番号	件　名	結果
第39号	専決処分の承認について〔平塚市市税条例の一部を改正する条例〕	承認
第40号	専決処分の承認について〔令和２年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第41号	専決処分の承認について〔令和３年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第42号	監査委員の選任について	同意
第43号	監査委員の選任について	同意

報　告

報告番号	件　名
第2号	専決処分の報告について

審議の結果

○は賛成　×は反対　退は退席
（各会派の正式名称はページ左下に記載しています）

市長提出議案

議案番号	件　名	結果	清	し	公	湘	共	A	B
第44号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第45号	令和３年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第46号	地方税法第314条の７第１項第４号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第47号	平塚市の図書館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○3 退3	○	○	×	○	○
第48号	平塚市民病院職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○5 退1	○	○	○	○	○
第49号	令和３年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○4 退2	○	○	○	○	○
第50号	令和３年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第51号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

会議案番号	件　名	結果	清	し	公	湘	共	A	B
第3号	子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○

請　願

請願番号	件　名	付託委員会	結果
令和2年 第5号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願	環境厚生常任委員会	不採択
第2号	子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	教育民生常任委員会	採択
第3号	日本政府に「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願書	総務経済常任委員会	趣旨採択

報　告

報告番号	件　名
第3号	継続費の逓次繰越しの報告について
第4号	繰越明許費の繰越しの報告について
第5号	公営企業会計予算繰越しの報告について
第6号	公益財団法人平塚市まちづくり財団の経営状況について
第7号	平塚市土地開発公社の経営状況について
第8号	公益財団法人平塚市生きがい事業団の経営状況について

お知らせ　会議録は８月下旬に公開

本会議など各種会議での質問や答弁などは、会議録にまとめて公開しています。

６月定例会の会議録は８月下旬から公開します。市役所本館８階の議会図書室や５階の市政情報コーナー、各地区の公民館、各図書館でご覧ください。

市議会を傍聴される方へのお願い

平塚市議会では、定例会本会議及び委員会の傍聴にお越しいただく皆様に次のことをお願いしています。

○非接触型体温計による検温にご協力をお願いします（検温の結果、37.5度以上の場合は傍聴をお断りさせていただきます）
○マスクを着用してください
○入場時にアルコール消毒液による手指消毒をしてください
○風邪のような症状がある方は、傍聴をご遠慮ください

会派と所属議員

清風クラブ（清）
佐藤貴子　数田俊樹　野崎審也　諸伏清児
坂間正昭　須藤量久　黒部栄三　片倉章博
※数田議長は採決に加わっていません

しらさぎ・無所属クラブ（し）
渡部　亮　江口友子　端　文昭　金子修一
府川　勝　臼井照人

公明ひらつか（公）
秋澤雅久　石田美雪　上野仁志　鈴木晴男

湘南フォーラム（湘）
府川正明　山原栄一　出村　光

日本共産党平塚市議会議員団（共）
石田雄二　松本敏子

無所属
Ａ久保田聡　Ｂ小泉春雄

市議会の傍聴について

９月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議は午前10時に開会の予定です。

なお、本会議はケーブルテレビ（ＳＣＮ）での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。ぜひご利用ください。

今後の市議会の対応について

本紙に掲載されている情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みなどに伴い変更する場合があります。

詳細については議会局までお問い合わせください。

９月定例会の予定

8月27日㊎	本会議（提案説明など）
9月7日㊋	本会議（総括質問）
8日㊌	本会議（総括質問）
9日㊍	本会議（総括質問）
10日㊎	本会議（総括質問）
14日㊋	常任委員会（総務経済・都市建設）
15日㊌	常任委員会（環境厚生・教育民生）
22日㊌	本会議（表決など）

問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791